

メディカルコート八戸西病院広報誌 / ホスピタリティコート

hospitalityCourt

特集	地域医療 フォーラム	知っておきたい！介護と福祉 老健ってどんな施設？ 介護老人保健施設 はくじゅ
	社長の健康 メッセージ	八戸農業協同組合 代表理事組合長 水越 善一さん
LIFE WORK HISTORY 人にライフあり、ワークあり、歴史あり / チャレンジ改善委員会 もっと開こう、地域へ OPEN HOSPITAL / One Day 医療人 しあわせ Chisan Sweets / Information / イベントスケジュール		



知っておきたい！ 介護と福祉

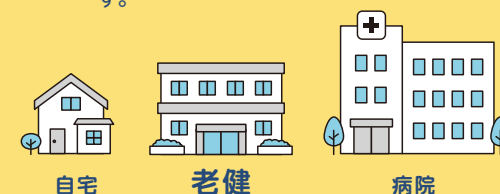
特別養護老人ホーム、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅など、介護施設の種類の多岐にわたります。その中の一つである介護老人保健施設（老健）は、多職種が連携して医療的ケアやリハビリテーション、介護などのサービスを提供し、住み慣れた自宅での生活に戻るよう支援する施設です。今回は、当法人が運営する「老健はくじゅ」の取り組みについて紹介します。

介護老人保健施設

老健って どんな施設？

1 病院と自宅の中間施設

病院と自宅などの中間施設という位置づけ。在宅復帰を目標とし、医療ケアやリハビリテーションに重点が置かれています。



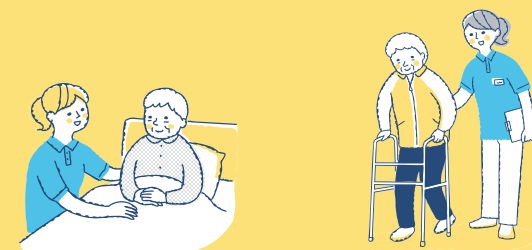
2 多様な専門職が常駐

要介護 1～5、病状が安定していて入院の必要はないが、リハビリを必要とする人が対象。医師、看護師、支援相談員、ケアマネジャー、介護職員、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士といった多様な専門職が常駐しています。



3 できることを増やす

利用者の「こうなりたい」という目標に向けて、歩行、トイレ、入浴、身支度、食事、調理など日常生活に必要な動作を練習することはもちろん、手作業やレクリエーション活動を通して「できること」を増やし、退所後も安心して生活が送れるように取り組んでいます。



青森県初の老健施設

はくじゅは1988年、青森県初の老健施設として開設されました。サービスの特徴は、退所して自宅に戻った後も、通所や訪問で切れ目なくサービスが受けられること。長期間入所することはありませんが、体調を崩しやすい冬期間だけ入所し、健康管理をしながらリハビリを続けることも可能です。

大切にしているのは、楽しんでリハビリに取り組んでもらうこと。明るくて清潔感のあるリハビリルームでは、専門のスタッフが付き添いながら、利用者が歩行や階段の上り下りの練習をしています。自転車型トレーニング器具などもあり、体力づくりに取り組んでいる利用者もいました。

交流を深める活動も

また、レクリエーション活動の一環として、バリンピックで注目を集めた「ボッチャ」も楽しめます。白い目標球に向かって、赤または青の柔らかい球を投げて、どこまで目標球に近づけられるかを競うスポーツです。

介護老人保健施設

はくじゅの 特徴と取り組み

化も期待できます。

一方で、余暇時間の楽しみを見つけるため、花壇作りや野菜作りといった農業体験や、脳トレなどの活動も。手芸が好きな人は、レジンを使ったアクセサリー作りに取り組めます。

自宅での生活を支援

はくじゅの利用者のほとんどは、住み慣れた自宅への復帰を目指しています。車いす生活だった利用者がリハビリに一生懸命取り組み、自力歩行ができるようになったケースはたくさんあります。

それを支えるのが、さまざまな専門職。一人一人が自分らしく生きていくためには何が必要かを分析し、多職種がチームケアに取り組み、利用者の今後の人生につなげていきます。



残さず食べて 生産者を尊重しよう



社長の健康メッセージ

リーダーの人生は健康メソッドの宝庫だ。

vol.34

八戸農業協同組合

代表理事組合長

水越 善一 さん

profile: 1953年八戸市出身。八戸市立是川中学校卒業。2001年から八戸広域農協理事、09年から八戸農協理事を歴任。19年に専務就任、22年から現職。

畑仕事で体を動かす

私の家は、八戸市是川地区で先祖代々続く農家です。子どもの頃から畑仕事の手伝いをしていて、自然と体を動かす環境で育ちました。専業農家をやりながら長年JA八戸の非常勤役員を務め、昨年組合長に就任しました。

自分で野菜を作っているゆえ、わが家では食卓に毎回季節の野菜が上ります。多少の好き嫌いはありますが、野菜、魚、肉など何でも食べます。

仕事忙しい中でも、さまざまな本を読むことを楽しんでいます。最近読んだのは、浅田次郎さんの時代小説「大名倒産」。江戸時代の村上藩（現在の新潟県村上市）をモデルにしている作品で、村上地方ならではの食文化であるサケ料理に関する記述がたくさん出てきます。魚も好きなので、読むとサケが食べたくなりますね。

野菜中心の弁当で減量

現在健康面で気になることは、体重と血糖値。もちろん、毎年の健診の結果は主治医に見せて、アドバイスをもらっています。

作ることの大変さや食の大切さを学ぶ取り組みです。6月には児童18人が食用菊やネギの植え付けをしました。

今年の暑さは異常で、土が熱くなったために大根やニンジンがうまく育たなかったり、花粉が駄目になって果物やトマトの受粉ができなかったりと農作物にも多大な影響があり、価格も高騰しました。だんだん涼しくなり供給も整うので、価格も落ち着いてくるはずですが、ぜひ多くの人に地元の野菜を食べてほしいと思います。

まない「休肝日」、または甘いものを食べたり飲んだりしない「休甘日」にしています。

残さず食べてほしい

会合に懇親会はつきものです。乾杯後30分間とお開きの10分前は料理を楽しむ「30-10運動」を司会者が呼び掛けると、皆さんと食べます。

テーブルに並ぶ食事に使われる食材は、世界中の仲間たちが汗を流して作ったり、命を懸けて取ってきたりした物です。それを残すのは、大変罰当たりなこと。食品ロスを出さないよう、一人一人が心掛けてほしいですね。残さず食べることで、料理人も生産者も嬉



上)「キッズあぐり塾」で、地域の伝統野菜である食用菊の植え付けを体験する子どもたち。
(デーリー東北新聞社提供、6月24日付掲載)

下)専務就任当時から個人的に思い入れがあり大切にしている、稲穂モチーフの旧組合マーク。

一方、次世代を担う子どもたちに地元の農業について理解を深めてもらうため、八戸市と連携して「キッズあぐり塾」を毎年開講しています。小学生が実際に農作業をすることで、野菜を

data

八戸農業協同組合



青森県南7市町村を管内とするJAであり、信用事業、共済事業、営農事業（指導事業・販売事業・保管事業、利用事業、加工事業）、購買事業等の地域密着型の総合的な事業のほか、食農教育の実践活動を行っている。



住所：八戸市大字尻内町字内矢沢2-5
設立：2009年4月

人にライフあり、ワークあり、歴史あり。

院内をチームとしてつなげる感染管理認定看護師を目指して

入職して5年経過した頃から、院内感染対策委員会として活動を始め、日々感染の基礎知識を学びながら、病棟内の環境ラウンドやスタッフへの指導を行っていました。2020年、新型コロナウイルス感染症で日本が混乱していた中、私自身も院内感染の不安を抱えていました。しかし、医療崩壊の危機の中で感染管理認定看護師が一生懸命戦っているニュースを見て、とても感動しました。そして、私も感染症から患者を守る看護師になる決意をし、認定看護師の資格を取るため、2021年研修学校へ入学。2022年、感染管理認定看護師の資格を取得しました。現在は、感染対策チームの一員として、新型コロナウイルス等の感染症対策や院内環境ラウンド、各病棟の感染委

員へのアドバイスなどを行っています。病棟との兼務で忙しい日々ではありますが、以前より多職種と関わる機会や院外での研修が増え、とてもやりがいを感じています。「感染対策は、一人でがんばるのではなく、チームでつながり、一緒に同じ目標をもってできるから楽しむのよ。」という研修の先生の言葉を今でも大切にしています。これからも、病院スタッフでより良いチームを作り、患者や職員が笑顔で生活できるよう、そして私自身も笑顔で活動していきたいと思います。

略歴

2009年3月 八戸看護専門学校卒業
2009年4月 メディカルコート八戸西病院
看護部入職

H W L
I O I
S R F
T O R Y
K E

当院には、さまざまな経歴や資格をもつ職員が在籍しています。その個性を生かした活躍ぶりやリアルエピソードをご紹介します。



看護部
看護師
古舘 春香
Haruka Furudate

※上記取材内容は2023年10月時点のものです。

もっと向上できる、ホスピタリティ。

チャレンジ 改善委員会

サービス、医療安全、感染対策などをホスピタリティ目線で改善するプロジェクト展開中です。



外来採血ブースの環境を改善しました



患者さまも看護師も無理のない姿勢で採血ができるカウンターとなり、ブース内も明るく落ち着きのある環境に改善できました。

当院1階の外来採血ブースは、カウンター型の採血台で、カウンター幅が広く、看護師と対象者の距離が遠くなり、採血時は両者とも乗り出す姿勢となっていました。また、プライバシー配慮のためのブースの壁は白パネルで圧迫感がありました。今回、採血台カウンターの奥行きを10センチ程度カットし、両壁に淡いピンク色のクロスを貼ることで、採血時の無理のない姿勢への改善と圧迫感を軽減した空間を実現することができました。今後も患者さまが心地よく、安心して診療が受けられる環境づくりのために改善を重ねてまいります。



待合スペースの快適性向上と動線改善ができました



ソファ配置を改善した結果、テレビを観ながら、受付窓口や自動精算機へもスムーズに移動できる動線ができました。

当院1階の外来待合スペースはこれまで、受付窓口のやりとりや自動精算機の画面が見えるソファ方向だったため、プライバシー配慮にかけておりました。今回、全てのソファをテレビの方向に回転し、受付方向に視線が向かず、患者さま同士の視線が合わないレイアウトに改善しました。その結果、ソファ間から受付への動線もスムーズになりました。また、コロナ禍で中止していた無料のウォーターサーバーも再開し、これまで以上に待ち時間を快適に過ごしていただけます。今後も院内の居心地の良さを追求し、環境改善に努めてまいります。

働きはじめてからでも
学べる環境があります

#11

社会福祉士

Social worker

社会福祉士は心身に障がいのある方や、生活困窮者など日常生活を営むのに支障のある方、介護を必要とする高齢者などの相談にのったり、必要な福祉・医療サービスの提案や調整をしたりする仕事です。相談援助を通して、いろいろな人生に寄り添えることがやりがいです。

メディカルコート八戸西病院
社会福祉士：野澤 星奈
八戸学院大学卒
社会福祉士



リハビリテーション病院として
地域社会に貢献します



充実した地域医療提供のため働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

08:15 出勤・準備

08:30 午前業務スタート

多職種カンファレンスや回診に参加します。カンファレンスでは、ご本人ご家族の要望、病前の様子や退院後のサポート状況等を配慮して退院支援について検討しています。



12:30 昼食休憩

お弁当持参や売店購入などさまざま。みんなでお菓子を食べながら談笑することが憩いのひとときとなっています。



13:30 午後業務スタート

面談では、その方の状況に合わせ、話すタイミングや内容を工夫しています。施設や担当ケアマネジャーと連携を図り、退院後も地域でその人らしい生活を送れるような支援を心掛けています。



17:30 業務終了

Note 教育体制も整えています。

資格取得はあくまでもスタートラインであり、働き始めてからも学ぶことが求められます。そのための研修体制も充実しています。今回は、オンライン研修にて医療ソーシャルワーカーの知識・技術を習得しました。外部研修や先輩たちのサポートがあるため安心して業務ができます。



もっと開こう、
地域へ。

OPEN
HOSPITAL

オープンホスピタル

医療事務実習

仙台医療秘書福祉専門学校

地域の医療実習生や職場体験の受入れに
私たちは積極的に取り組んでいます。

患者さまの健康を支えていることを感じる実習

7月3日から21日までの3週間、仙台医療秘書福祉専門学校の医療秘書科2年生の医療事務実習が当院医事課で行われました。

医療事務の主な仕事は3つで、診療の記録管理、外来・入院の診療報酬請求事務、外来窓口での受付・会計業務です。実習では記録管理業務を中心に行いました。また、期間中には外来での予防接種受付業務も体験しました。いずれの場面でも患者さまやスタッフに笑顔で接し、業務に対する積極的な質問も多く、実習でスキルを高めようとする姿勢が印象的でした。

実習生は、学校では体験できない現場での実習を通して、医療事務スタッフとして働く未来を具体的に想像できるようになり、貴重な体験であったと実習を振り返りました。

医療事務は、患者さまの健康を支える安心を与える、また診療業務を支える大切な仕事です。医療事務を志す学生さんを、今後も継続してサポートしていきます。



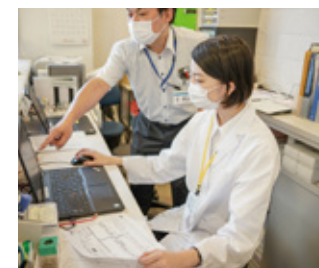
予防接種の受付や接種後の書類の確認作業を行いました。一度に多くの患者さまが来院されるので、慎重に確認を行います。



外来窓口では患者さまに安心していただけるよう接します。同時に書類の管理や会計の呼び出しなどを迅速に行います。



数多くのカルテの中から診療予約の入っている方のカルテを取り出します。診察をスムーズに進めるための大事な仕事です。



診療報酬請求事務作業の見学・体験をしました。実際の会計に関わる業務のため、詳細な項目まで慎重なチェックが必要です。

Information

インフルエンザ予防接種 受付について

10月20日からインフルエンザ予防接種を実施します（要予約）。予防接種はインフルエンザが発症する可能性を減らし、重症化を防ぐ効果があります。感染症から身を守るためには正しい手洗いや普段からの健康管理も大切です。料金など詳細は外来受付へお問い合わせください。



八食センター「八・笑ウォーク」で 健康教室が開催されます

今年12月5日（火）と来年2月27日（火）、八食センターで、当院リハビリスタッフが健康教室の講師として参加する「八・笑（はち・わら）ウォーク」が開催されます。対象は八戸市在住の60歳以上の方で、定員30名、参加料は1,000円（要予約）。お問い合わせ、お申込みはデイサービスセンターみやぎ ☎0178-71-2270まで。



「糖尿病講演会」を開催します

11月18日（土）9:00～13:00、当院1階交流ホールで、世界糖尿病週間にちなんだ「糖尿病講演会」を開催します。講師は日本糖尿病学会専門医の石亀昌幸医師、整形外科医師、管理栄養士、理学療法士で、体験型イベントも予定。参加費無料、先着40名の予約制です。お問い合わせ、お申込みは当院 ☎0178-28-4000まで。



写真は2022年11月13日撮影

青森県知事より 表彰を受けました

当法人は「令和5年度青森県障害者雇用優良事業所等表彰式典」にて、障害者の雇用の促進と職業の安定に貢献した団体として、青森県知事表彰を受けました。同賞では当法人を含め2社、ほかに（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞に3社が選ばれました。今後も継続した障害者雇用の促進に取り組んでまいります。



地域の農家さんが
地域の土と空気と水で
育てた食材で
おいしくいただいて
健康になる
しあわせ地産スイーツ。

しあわせ
Chisan
Sweets

新郷村産のかぼちゃを使って
かぼちゃティラミス

Pumpkin Tiramisu

かぼちゃには食物繊維、B-カロテン、ビタミンEが豊富に含まれています。食物繊維にはおなかの調子を調える働き、β-カロテンはカラダを酸化から守る抗酸化作用、ビタミンEはホルモンを調整する働きが期待できます。B-カロテンをはじめ、免疫力強化に効果を発揮する栄養素がバランスよく含まれている緑黄色野菜です。

【作り方】

- ①かぼちゃは皮、種をとり、レンジでやわらかくなるまで加熱し、つぶしてペーストを作る。
- ②室温に戻したマスカルポーネにグラニュー糖を混ぜ、①を加え混ぜる。
- ③生クリームを少しトロミが付く程度に氷水で冷やしながら泡立てる。
- ④②に③を加え混ぜる。
- ⑤湯、インスタントコーヒー、グラニュー糖20gを溶かし冷ます。
ビスケットをコーヒー液に軽くつける。
- ⑥かぼちゃ生地、ビスケットを交互に入れ、ココアパウダーをふって振り切る。

【材料】 3〜4 個分

かぼちゃ（皮・種無し）・・・ 260g
マスカルポーネチーズ・・・ 200g
生クリーム・・・ 200g
ビスケット・・・ 8枚
ココアパウダー・・・ 適量
グラニュー糖・・・ 15g
インスタントコーヒー・・・ 大さじ1
グラニュー糖・・・ 20 g
湯・・・ 100cc



管理栄養士
古館 幸恵
介護老人保健施設しんごう



公式Instagramで
ご覧いただけます

Event イベントスケジュール

※1Fアートストリートでは、リハビリ患者さまの作品を随時展示しています。

□2023年					
10月15日(日)～11月17日(金)		終日	アートギャラリー2023 泰雲堂(書道)	1Fアートストリート	自由観覧
11月18日(土)		9:00～13:00	糖尿病講演会 お問合せ☎0178-28-4000	交流ホール	予約制(定員40名)
11月21日(火)～12月7日(木)		終日	絵画・書道展 MOA美術館	1Fアートストリート	自由観覧
11月22日(水)～12月24日(日)		終日	クリスマスイルミネーション点灯	交流ホール	自由観覧
12月1日(金)～12月24日(日)		終日	館内クリスマスミュージック放送	館内	
□2024年					
1月13日(土)～31日(水)		終日	八戸西病院 書き初め書道展	1Fアートストリート	自由観覧

・介護予防教室・健康相談のお知らせ

当院専門スタッフ派遣による「介護予防教室・健康相談」を八戸市内の各公民館などで開催しています。日時、場所、内容など詳しくは、当院外来の掲示板でご確認ください。

医療のいろいろなことを相談できる 当院公式WEBサイト「診療科トピックス」 をご利用ください。

当院では、患者さまの疾病や障害、健康などに関するお悩みについて、さまざまな専門外来の診療科と専門スタッフに、もっと気軽に相談いただけるきっかけづくりとして、公式WEBサイトに「診療科トピックス」を設置しています。スマホやPCでのアクセス、またはお電話でご相談ください。

〈最新トピック〉

- ・消化器内科について
- ・带状疱疹ワクチンについて



●スマホ、PCでご覧の場合

公式WEBサイト
「診療科トピックス」ページ



●お電話の場合(外来のご相談・ご予約)



0120-824-489

受付時間 平日 9:00～12:00/13:30～16:30 土曜 9:00～12:00

Note 編集ノート

4年ぶりの「メディカルコート夏祭り」を開催しました。

新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となったメディカルコート夏祭り。当日は天候も良く、たくさんの方にご来場いただきました。健康チェックやバルーンアート、地震体験車などのほか、八戸市の「いかずきんズ」の参加で盛り上がり、夜の花火大会では、間近で観るきれいな花火に患者さまと一緒に感動しました。来年の夏祭りもたくさんのイベントを準備してお待ちしておりますので、皆さまぜひご参加ください。



夏祭りの最後を飾る夜の花火大会では、患者さまと一緒にきれいな花火を間近で観ることができ、夏の夜を楽しむことができました。

